

平成23年第3回定例会

一般質問通告書

流山市議会

平成23年第3回定例会一般質問通告書順

日付	順番	議員名	党及び会派名
9月6日	1	阿部治正	社会民主党
	2	青野直	流政会
	3	根本守	自由民主党・民主党
	4	菅野浩考	みんな・一新
	5	酒井睦夫	みんな・一新
9月7日	6	西川誠之	みんな・一新
	7	中川弘	流政会
	8	加藤啓子	みんな・一新
	9	山崎専司	流政会
	10	斉藤真理	公明党
9月8日	11	植田和子	日本共産党
	12	徳増記代子	日本共産党
	13	乾紳一郎	日本共産党
	14	小田桐仙	日本共産党
	15	楠山栄子	社会民主党
9月9日	16	森亮二	流政会

質問事項	要 旨
<p>1 市の施設の電気料金の低減策について</p>	<p>(1) 特定規模電気事業者（PPS）と契約が可能な市の施設（契約電力が50キロワット以上）の施設名・施設数を問う。</p> <p>(2) 立川市と同様に流山市においては小中学校を「グループ1」、各種会館等を「グループ2」とし、それぞれの特定規模電気事業者（PPS）の電気料金（「グループ1」が東京電力比マイナス19%、「グループ2」が同18%）で試算した場合、流山市の施設全体でどれくらいの経費削減が見込めるかを問う。</p> <p>(3) 市の電力調達にあたりPPSも参加させ、電気料金を低減すべきと考えるがどうか。</p>
<p>2 放射能汚染対策について</p>	<p>(1) 放射線量の実情についての認識を問う。</p> <p>ア 首都圏、東葛地域、流山市域における自然放射線量はおよそどのくらいと理解しているのか。</p> <p>イ 東京電力福島第1原子力発電所の事故によって流山市域の放射線量はどの程度増大したと捉えているのか。</p> <p>(2) 放射線被曝の健康への影響についての認識を問う。</p> <p>ア 東京電力福島第1原子力発電所の事故に由来する流山市域における放射線量の増大は、人の健康に影響を与えると考えるのか、そうでないと考えるのか。</p> <p>イ 低線量被曝やそれに伴う内部被曝の危険性を指摘する専門家の見解についてどう考えるのか。</p> <p>(3) 放射能汚染・被曝対策の現状について</p> <p>ア 放射線量の測定体制の充実についてどのような具体策を考えているのか。</p> <p>イ 除染対策の拡充についてどのような具体策を考えているのか。</p> <p>(4) クリーンセンターの焼却灰の処分方法について</p> <p>ア 国・県に対する働きかけをどのように強めていくのか。</p> <p>イ 流山市として独自の対策をどのように考えているのか。</p> <p>ウ 国が最終処分場で埋め立て可能な焼却灰などの放射線濃度基準を引き上げる可能性があるが、それに対する市の対応について問う。</p>
<p>3 市の広報活動のあり方について</p>	<p>(1) 「広報ながれやま」における原発事故及び放射能汚染による健康への影響に関する記述について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 教育行政の充実に ついて</p>	<p>(1) 私たちが育ってきた風土や文化秩序を大切にしながら、確かな学力や、豊かな心、健やかな体を育むための、更なる教育の充実策について問う。</p> <p>(2) 3月11日に発生した東日本大震災以降、学校での避難訓練や甚大な被害を想定しての訓練について問う。</p> <p>(3) 体育館建設計画について ア 政策形成過程、公正性、透明性の確保策について問う。 イ 総合運動公園再整備計画との整合性について問う。</p>
<p>2 改正介護保険法の 施行について</p>	<p>(1) 改正介護保険法が、平成24年4月から施行されることとなっているが、保険者としての取り組みと被保険者等への情報提供等の諸対策を問う。 ア 平成24年度の事業概要と収支概算予算の見通しについてはどうか。 イ 特別養護老人ホームをはじめ、老人保健施設、グループホーム等施設管理者への情報提供や、入所者、在宅者等への情報提供はどうか。 ウ 条例や規則改正をはじめ、新たな条例、規則の制定はどうか。</p>
<p>3 南部地域の諸課題 について</p>	<p>(1) 旧流山市立流山幼稚園の跡地対策について問う。 (2) 江戸川本町界隈の活性化策について問う。 (3) 流山小学校区まちづくり協議会から要望されている交通問題について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 流山本町の歴史や街並みを活かした取り組みについて</p>	<p>(1) 市長の約束に掲げている「流山本町の街並み」とは、どのような街並みを指しているのか。流山本町が栄えていた江戸時代から明治時代に掛けての街並みなのか、それとも現在ある街並みなのか。具体的な街並みについて市長に問う。</p> <p>(2) 現在、見世蔵として古民家を活用しているが、この見世蔵への年間の委託料として総額いくら支出しているのか。また、何年間を想定して委託するのか。</p> <p>(3) 街並みを再整備していく上で、見世蔵の他にも古民家を再整備し、他店とタイアップした観光資源としての古民家整備計画はあるのか。</p> <p>(4) 流山本町の街並みと歴史を活かすことであるが、古民家への支援として、外観や内装の模様替えにかかる改修費や補助金など、年間どの程度の支援を想定しているのか。</p> <p>(5) 現在は一茶双樹記念館、アトリエ黎明、見世蔵など、点在している観光や景観の資源である、歴史ある街並みを再生する必要がある、また、賑わいを創出していかなければならないと考えられるが、具体的な計画について問う。</p>
<p>2 観光ツーリズムについて</p>	<p>(1) 観光ツーリズムの一環として、道路に愛称及び呼称を付け地域に密着した親しみのある道路や、観光案内等でも使用できる愛称を付けることで流山本町の活性化が図れると考えられる。道路に愛称及び呼称を付けることで、流山本町の活性化を図る考えはないか。</p> <p>(2) 現在、京成バス株式会社により、流山おおたかの森駅から流山本町方面へバスが運行している。歩道もない旧流山街道に大型バスが走行することになったが、このバス路線の運行管理に至るまでの、京成バス株式会社との安全対策を含めた協議経過について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>3 一級河川今上落の排水計画と集中豪雨対策について</p>	<p>(1) 新川耕地の水田は、調整池の機能を果たしていると考えられるが、近年においては休耕田が増えつつあり、水田を埋め立てて転作目的の盛土の箇所が見受けられる。また、開発行為等により、水田が埋め立てられて調整池としての機能が失われている。このようなことから、更に盛土行為が行われた場合、下流部への影響が十分に想定できることから、新川耕地の調整池としての機能についてどのように考えているのか問う。</p> <p>(2) 今上落の排水機能について</p> <p>ア 流山排水機場の排水機能としては、毎秒約14トン排水できると聞いている。今上落の樋管からも排水はできるものの、江戸川の水位があがると樋管は閉鎖され、排水機だけの強制排水となるが、現在の排水機能で十分なのか。また、北小屋排水機及び下花輪排水機場のそれぞれの排水機能については、毎秒何トンの排出ができ、いつ設置され、その管理は誰が行っているのか問う。</p> <p>(3) 現在の今上落の樋管の断面は畳6枚分だと思うが、現状の排水断面で集中的豪雨における治水対策として十分に確保されているのか問う。</p> <p>(4) 松戸市の排水機場の排水能力は、毎秒約100トンの雨水を排水できる機能を有していると聞き及んでいる。流山市として排水機及び電源の増強について、国及び県に強く働きかける必要があると考えるがどうか。また、国及び県に働きかけ、実現に向け事業が行われたとした場合、整備には何年位かかり、いつまでに水害対策の悩みを解消できるのか。その計画期間について問う。</p>
<p>4 小中学校等公共施設の「ヘリサイン」の表示等について</p>	<p>(1) 救援救助活動を迅速かつ効率的に行うためには、指定避難時場所である小中学校をはじめ、公共施設の屋上に建物識別を容易にできるヘリサイン表示の取り組みがあり、本市も早急に取り組む必要があると考えるがどうか。</p> <p>(2) 指定避難場所である小中学校における備蓄倉庫については、ハザードマップによると、小学校で6校、中学校で5校の合計11校で校舎内に倉庫整備がされており、流山北小学校では校舎の外に整備されている。未整備の学校においては、今後、ヘリサインと合わせて空き教室を備蓄倉庫として効率的に利用することが必要と考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 ワンストップサービス（総合窓口）について</p>	<p>(1) おおたかの森出張所での行政機能について ア 出張所ができ、すでに5年程経過しているが、サービスの現状はどうか。</p> <p>(2) 現在、流山おおたかの森駅北口に計画されている（仮称）市民窓口センターについて ア 移転計画されているおおたかの森出張所では、12名の職員がおり、同じ職員が税の徴収や証明書の発行、観光・イベント情報など、28課208項目以上の業務を横断的に遂行しているが、（仮称）市民窓口センターは、どのような組織体制で行政サービスを提供するのか。</p> <p>イ 松戸市の全支所では、各支所に市民健康相談室を設置し、母子の育児や健康相談、各種ガン検診の登録、予防接種の申請等の業務を行い、弱い立場（お子さん、ご高齢者、障がいをお持ちの方など）の市民にも、本庁と同等のより良い市民サービスの提供に努めている。現在計画されている（仮称）市民窓口センターにも同等のサービスを提供する予定はあるのか。又、消費者センターや市民活動サポートセンターもオープンスペースとして共同設置してはどうか。</p>
<p>2 年金受給に関する届け出・手続きについて</p>	<p>(1) 近隣自治体では老齢年金受給の際、「住民票」や「戸籍謄本」を無償提供している自治体もあるが、流山市はしていない。この状況について見解を伺いたい。</p>
<p>3 学校支援体制について</p>	<p>(1) 学校支援地域本部事業のモデル地域である北部中学校は、学校サポートボランティア制度や地域コーディネーターが中心となった子供達の教育支援を行っている。本年23年度、文部科学省は教育支援活動を各地域の実情に応じ、有機的に組み合わせる事を可能としたが、北部中学校の取り組みを今後どのように向上させていくのか。</p> <p>(2) この経験を活かし、市内各校に対してどのような教育支援活動を展開していくのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 「財政白書」について</p>	<p>(1) 本年2月に「財政白書」(平成21年度決算版)が発行されたが、初版(平成20年度決算版)と比較してどこに改善のポイントを置いたのか。</p> <p>(2) 市民の意見をどのように生かしたのか。</p> <p>(3) 市民への説明を今後どのように実施するのか。</p> <p>(4) 財務諸表について</p> <p>ア 貸借対照表の「負債の部」に「債務負担行為」は含まれるのか。</p> <p>イ 行政コスト計算書の「人件費」のみ金額が異なるのはなぜか。</p> <p>(5) 今後の改善策について</p> <p>ア 「施設別」「業務別」に財務諸表を作成してはどうか。</p> <p>イ 財政白書の編集に当たっては、市民参加のもとで行い3年に1回、又は隔年の発行にしてはどうか。</p> <p>ウ 市民への説明を最重点目標にすべきと考えるがどうか。</p>
<p>2 本市財政について市長の認識と施策について問う</p>	<p>(1) 現在の本市財政の状況をどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 今後10年間、本市財政はよくなる可能性は低いと考えるがどうか。</p> <p>(3) 東日本大震災による環境変化に伴い、「後期基本計画」の財政フレームについては厳しい認識を持つべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 「施設保全計画」を「後期基本計画」にどのように位置付けるのか。</p> <p>(5) 財政フレームの見直しに当たり、大胆な人件費削減策が必要と考えるが、今後どのように取り組むのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 中高一貫教育について教育長に問う</p>	<p>(1) 流山市では、中高一貫校の計画はあるのか。 (2) 千葉県教育委員会の方針との整合性についてどのように考えているのか。 (3) 千葉県下の中高一貫教育校増設計画が実現した場合、本市の小中学校併設校基本計画（案）との関連はどのようなのか。</p>
<p>2 義務教育期間の外国語教育について</p>	<p>(1) 本市の小学校における対応について (2) 中学校における対応及び現状について</p>
<p>3 流山市立江戸川台幼稚園について</p>	<p>(1) 園庭の芝生の維持管理について</p>
<p>4 都市計画道路 3・4・10 号市野谷向小金新田線について</p>	<p>(1) 事業計画の再考の余地はあるのか。 (2) 行政の一方的な案を示すのではなく、地域住民へ可否を問うアンケート調査を実施したのか。 (3) 計画策定後現在までに住民説明会を何回実施したのか。 (4) 直接影響を受ける住民に対して真剣に十分な説得手段・根気・熱意を持って説得に当たったのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 つくばエクスプレスの混雑緩和について問う</p>	<p>(1) 首都圏新都市鉄道株式会社、当局の努力により混雑緩和の第一歩として南流山駅の改修が実現する運びとなった事は誠に喜ばしい事である。この工事の完成に合わせて実施される平成24年10月のダイヤ改正に向けた更なる混雑緩和に向けて問う。</p> <p>ア TXに限らず夜遅い時間、特に23時以降の鉄道の混雑は酷い状況であるが、当局の通勤時間帯の混雑状況の認識はどうか。</p> <p>イ 次回のダイヤ改正に際し、首都圏新都市鉄道株式会社に対して夜遅い帰宅時間帯の混雑緩和に向けた対応を求めるべきと思うがどうか。</p>
<p>2 流山おおたかの森駅西口の安全対策と利便性について問う</p>	<p>(1) 現在、仮供用開始されている流山おおたかの森駅西口の駅前ロータリーの安全対策と利便性について問う。</p> <p>ア 鉄製のフェンスにより道路が設定されているが十分なスペースが確保されておらず、雨の日等は多数の送迎車両と路線バスが錯綜し事故の発生が懸念されるが、現状に対する当局の認識はどうか。</p> <p>イ 西口には駐輪場がなく自転車利用者から駐輪場の整備を求める声があるが西口への駐輪場の必要性を当局はどのように認識しているのか。</p> <p>ウ 西口の本運用までの具体的スケジュールはどの様になっているのか。</p> <p>エ 仮運用であることは十分に認識しているが送迎用駐車スペース確保等を考慮した道路設定の見直しなどを検討できないのか。</p>
<p>3 名都借からPAT流山の前に抜ける狭隘な道路の安全対策について問う</p>	<p>(1) PAT流山前の信号付近は特に狭隘であり国道6号線へ向かう信号待ちの車列に、国道6号線のPAT流山前の信号を右折する車が進入し、すれ違いもままならない状態であり、沿道の市民は自宅への出入りもままならない状態である。本道路の安全対策について問う。</p> <p>ア 当局としてまちづくりの中で当該道路はどの様に位置付けているのか。</p> <p>イ 当局として実施しうる安全対策についてどの様なものがあるのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 学童クラブの指定管理者制度について</p>	<p>(1) 学童クラブの指定管理者の業務等について問う。 ア 学童クラブの利用時間について問う。 イ 指導員の業務内容について問う。 ウ 仕様書案作成に当たり、運営委員会等の意見をどのように収集したのか。 (2) 学童クラブの指定管理者選考委員会の構成について問う。 (3) 学童クラブに対する市の指定管理料について問う。</p>
<p>2 小中学校併設校について</p>	<p>(1) 併設校とし、一貫校としなかった理由について問う。 (2) 既存の市内小中学校の一貫教育を含めた今後のあり方について問う。</p>
<p>3 庁内の業務管理について</p>	<p>(1) 庁内の業務にはすべてマニュアルがあるのか。 (2) 課内の業務の進捗状況は課内職員全員で共有されているのか。 (3) 業務の目標設定やその検証などは行われているのか。</p>
<p>4 東部公民館内の図書館東部分館跡の利用について</p>	<p>(1) 東部公民館内の図書館東部分館跡はどのようなもの利用されるのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 西平井・鱒ヶ崎地区 一体型特定土地区画 整理事業について</p>	<p>(1) 現在事業を見直し中であるが、見直しの要因は何か。</p> <p>(2) 見直しの方針と整備内容について当局の見解を問う。</p> <p>(3) 区画整理地区内に居住している方の生活を壊さない工事の施工について当局はどのように考えているのか。</p> <p>(4) 緑地の買い取りについて地権者の協力は得られるのか。買い取り価格はどのような評価基準で決めるのか。また、換地してほしい地権者にはどのように対応するのか。</p> <p>(5) 土地区画整理法第76条の許可を得ている建築等について、見直しによって支障が生じた場合はどのように補償するのか。</p> <p>(6) 財源をどのように確保するのか、当局の見解を問う。</p>
<p>2 地域建設業経営強化融資制度に基づく 転貸融資事業について</p>	<p>(1) 当該制度を本市においても導入し、市内企業の支援を図るべきと考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 保健行政について</p>	<p>(1) 次期「がん対策推進基本計画」の策定に向けた、流山市の現状と課題について問う。</p> <p>ア 流山市における成人検診の受診率の現状と、受診率向上のための取り組みについて</p> <p>イ 以前集団検診を行っていた、野々下福社会館が使用できなくなった経緯について</p> <p>ウ 子宮頸がん検診無料クーポンの効果はどうだったのか。</p> <p>エ 胃がん検診の1次予防策として、ヘリコバスター・ピロリ菌の有無を調べる検査を加えてはどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 (仮称)住宅リフォーム助成制度の創設について</p>	<p>(1)「住宅は個人資産」という位置付けから、「社会的資産」という位置付けに発展させることが重要だと考えるが市長の見解を問う。</p> <p>(2)耐震化、障がい者、高齢者のための住宅改造への要求とともに、「長く住める家」に改造をしたいという市民の要求にこたえることは、「長く住み続けられるまち」にする基本であり、市政の重要政策に位置付けるべきだと考えるがどうか。</p> <p>(3)住宅リフォームの工事は市内業者に限定し、市内業者の仕事を増やし、市内でお金がまわる仕組みにすることが大事だと思うがどうか。</p> <p>(4)財源確保のために、国の地域活性化交付金制度なども積極的に活用する仕組みをつくってはどうか。</p> <p>(5)市民が利用しやすい制度にするために、制限事項を少なくし、申請書類なども簡素化すべきと考えるがどうか。</p>
<p>2 野田市と隣接する運河地域の住環境改善について</p>	<p>(1)高齢化が進むなかで「閑静な住宅街」というだけでは住みにくい街になっている。このような地域の住民要求をどう認識しているのか。</p> <p>(2)住民自治のための公民館等の施設設置などを検討すべきではないか。</p> <p>(3)郵便ポストもない不便な現状であり、この地域の窮状を解決すべく市からも郵便ポストの設置について働きかけるべきではないか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 放射能汚染対策について</p>	<p>(1) 放射能汚染の実態を正確に把握し、実態とリスクを明らかにし、住民の命と健康を守る対策について、市長の政治姿勢を問う。</p> <p>(2) 放射線量の総合的で系統的な調査の実施について問う。</p> <p>(3) 7月21日号の「広報ながれやま」によれば、年間に受ける放射線量の目標値を1ミリシーベルト以下（自然界からを除く）としているが、具体的にはどのように除染するのか。</p> <p>(4) 除染で生じた汚泥土砂の処理方法について、緊急に法整備をするように国に強く要求すべきではないか。</p>
<p>2 ハザードマップで液状化の警告をしていた地域の総点検について</p>	<p>(1) 大震災後、液状化の警告をしていた地域の家屋や道路などの実態調査と今後の対策について問う。</p> <p>(2) 亀裂や波打ち状態になった道路の早期修復を実施すべきではないか。</p>
<p>3 高齢者世帯などの「災害弱者世帯」に対する防災対策について</p>	<p>(1) 家具転倒防止金具取り付け等の助成について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市長の政治姿勢を問う</p>	<p>(1) 東日本大震災からの復興の方向をめぐる論点について、市長の見識を問う。</p> <p>ア 復興の財源を消費税増税に求めるのか、大企業からの負担で賄うのか。</p> <p>イ 復興を大企業の復活本位でおこなうのか、地元の農業・漁業・地場産業の復興、仕事の再建を主眼において復興をおこなうのか。</p> <p>ウ 原子力発電所は危険性を点検して再稼働するのか、原子力発電所は止めて代替エネルギーで経済運営するのか。</p> <p>(2) 放射能問題について</p> <p>ア 原子力発電所事故による被曝から健康を守る原則は、「これ以下なら絶対に大丈夫という値はない」という考え方にたち、被曝量を可能な限り下げることであると考えるがどうか。</p> <p>イ 子どもたちへの健康調査の必要性について、どう認識しているのか。</p>
<p>2 介護保険について</p>	<p>(1) 「流山市高齢者等実態調査結果報告書」では高齢者のどんな生活実態が明らかになったのか。</p> <p>(2) 介護保険法改定に係る諸問題について</p> <p>ア 介護職員の医療行為容認について</p> <p>イ 24時間地域巡回型サービスについて</p>
<p>3 高齢者福祉について</p>	<p>(1) 東日本大震災時における「在宅災害時要援護者」への対応について</p> <p>(2) 老人福祉センターのひとり暮らし高齢者招待事業について</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市長の政治姿勢について問う</p>	<p>(1) 国民健康保険について ア 長引く経済不況の結果、暮らし・営業の大変さがより深刻化する中、国民健康保険料の負担が家計に重くのしかかっているが、市長の見解を問う。 (2) 西平井・鰯ヶ崎地区一体型特定土地区画整理事業について ア 計画変更の内容と背景について イ 事業変更に向けた協議内容は公開されていない。特に、事業における必要性・採算性・環境への影響・住民負担について公開するとともに、事業計画の変更の是非を全市民的に議論するべきと考えるがどうか。</p>
<p>2 放射能対策について</p>	<p>(1) 基準値を超える放射能汚染された焼却灰について問う。</p>
<p>3 子どもの教育・福祉について</p>	<p>(1) 長崎保育所及び名都借保育所の廃止・民営化について ア 7月末に開かれた民間保育園の説明会で、「気に入る人だけ来てもらえばいい」という民間保育園理事側からの発言があったと聞いているが、公立私立を問わず、認可保育園として運営される以上、入園条件をどう捉えているのか。 イ 一人一人の子どもに即したよりよい保育に取り組む以上、信頼関係の構築に向けた行政の取り組みとともに、公立保育所を望み、現在入所している世帯については、現公立保育所での保育が受けられる環境整備は行政の最低限の責任と考えるがどうか。</p>
<p>4 中部地域のまちづくりについて</p>	<p>(1) 駒木地区の県道豊四季停車場高田原線と都市軸道路の交差点からベイシアスーパーマーケット流山駒木店までの歩行者の安全対策について問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 救急医療について</p>	<p>(1) 救急医療で、もっとも多い疾患は脳卒中と心臓血管系であるが、その心臓血管系に関して、近年AEDが普及してきた。そのAEDの活用について問う。 ア 現在は学校、公民館など屋内を中心に設置されているが、夜間利用のために、屋外設置はできないのか。 イ 民間団体、会社等に対し、どのような普及対策をとっているのか。 ウ AEDマップの作成とその周知徹底が必要と考えるが、その対策について問う。</p> <p>(2) 救急疾患のもうひとつの大きな疾患、脳卒中について問う。 ア 近隣との広域医療で、一週間すべて24時間体制で脳卒中に対応する体制が必要と考えるが、その体制及びその周知徹底はされているのか。</p>
<p>2 流山市災害時要援護者避難支援計画について</p>	<p>(1) 市内の災害時要援護者の把握について問う。 (2) 福祉避難所の設置について問う。</p>
<p>3 小学校の英語教育について</p>	<p>(1) 本年度から始まった小学校英語教育について問う。 ア 担任の教師の負担について問う。 イ 中学校英語教育とのギャップが予想されるが、その認識、その対応について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 市長の政治姿勢について	(1) 議会改革に関する見解について問う。 (2) 政策法務に対する見解について問う。
2 東日本大震災・原発事故対応について	(1) 企業・市内関係団体などとの連携について問う。 (2) 国会や県議会との連携について問う。 (3) 情報管理について問う。
3 緑化政策について	(1) 緑の保全管理について問う。